



R I. 第2620地区 静岡第1グループ  
三島西ロータリークラブ

# 週報

第2172号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F  
TEL(055)976-6351 FAX976-6352  
例会場 静岡県三島市本町6-35 呉竹  
TEL(055)975-3210  
会長 佐野 宏三 幹事 前田 博利



広重版画より 三島 朝霧

## 第2239回例会

2019.3.14晴

### 司会

花房孝光君

### ロータリーソング

「我等の生業」  
指揮 鈴木郁夫君

### 会長挨拶

会長 佐野宏三君

皆さんこんばんは。河津桜もすっかり葉桜になりソメイヨシノの開花が待ち遠しいこのごろです。本日は第33回三島西RC・苗栗RC交換研修中学生8名をゲストにお迎えして、後ほど一人一人よりチャレンジテーマを発表していただきます。既に西本国際奉仕委員長を中心にして、交換中学生の目的や意義、歴史、滞在中の注意点等のオリエンテーションを2回開催しています。中学生は来週の3月21日(木)から27日(水)まで1週間の研修になります。滞在中の3月23日(土)苗栗ロータリークラブの創立48周年記念式典が行われ、当クラブから会員と家族11名と中学生も出席します。

当クラブと苗栗ロータリークラブとの歴史を紐解くと、昭和57年4月に当クラブ創立10周年の式典において姉妹クラブ締結式を行い以来38年間、また交換中学生の派遣事業についても、昭和61年3月苗栗ロータリー創立15周年時に計画されて、翌年の昭和62年3月に第1回交換中学生が三島から3名派遣されています。以来32年間で約200名の中学生が交互に海を渡っています。長期間にわたりこのような密度の濃い交流が保たれているのは、両クラブの歴代会長のリーダーシップと会員皆様方の理解と協力をいただいているからだと思っています。

今回、残念な事に次年度の会長・幹事が浜松で開催されるPETSと日程が重なってしまい訪台できませんが、4月22日苗栗RCメンバー10数名が当クラブを訪問する予定です。その時、次年度の顔と名前を大いに売り込んでください。

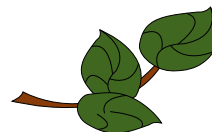
### “こんにちは、ようこそ”

ゲスト 苗栗RC交換研修中学生  
大場一輝さん(錦田中学校)  
佐々木吾瀧さん(北上中学校)  
遠藤峻太郎さん(中郷西中学校)  
池田玲音さん(山田中学校)  
坂倉芽瀬さん(清水町立南中学校)  
野中優希さん(北中学校)  
深谷花音さん(清水町立清水中学校)  
川名凜穂さん(南中学校)

### 出席報告

	出席総数	出席率	メ ア ッ プ	修 出 席 正 率
前々回	35/44	79.55%	38/44	86.36%
今回	33/40	82.50%	会員総数	47名

欠席者 赤池君、秋元君、内田君、千葉君、平出君、藤江君、八木君



### 幹事報告

幹事 前田博利君

- ①5月11日(土)せせらぎ三島RC30周年の出欠をとっていますので宜しくお願い致します。
- ②次回の例会は3月28日 12:30開会 場所 呉竹

2018～2019年度  
国際ロータリー会長  
バリー・ラシン

インスピレーションになろう

## おめでとう

会員誕生日 野田君、和田君  
結婚記念日 須田君

## スマイルボックス

- ◆和田君、3月28日Aテーブル会ありがとうございました。たくさん使ってくださいまして申し訳ありません。
- ◆Aテーブル、3月28日にテーブル会を開催しました。大変賑やかで楽しく過ごせました。和田さんありがとうございました。残金スマイルします。
- ◆窪田君、昨日岐阜でたくさん一枚板がせり落とせました。入荷してくるのが楽しみです。
- ◆ゴルフ同好会、3月10日(日)に佐野年度第6回目のゴルフコンペを、沼津ゴルフクラブにて開催しました。優勝 佐野さん・準優勝 平出さん・3位 関本さんでした。次回は4月21日(日)に伊豆大仁カントリークラブで行います。

## 交換研修中学生チャレンジテーマ

前回、台湾の中学生が日本に来た時、日本の食べ物や文化をとても楽しんでくれたので、自分も台湾の食べ物や文化に触れてみたいと思いました。台湾の苗栗という場所がどのような所なのかも知りたいです。身振り手振りも加えながらなりたいと思いますが、英語も積極的に使って、台湾の方々とは交流したいです。そして、たくさんの友人を増やし、充実した研修にしたいです。(大場一輝さん)

僕は、世界の事を知りたいと思っています。その世界の1つの台湾に行く事になり、スマホやテレビだけでなく、現地に行って確かめたいです。日本とは違う文化や料理、服、街並みを感じ、台湾のマナーと日本のマナーを見聞し、比べたいです。また、中学校に体験入学をすると思うので、日本の中学校の授業とどれだけ違うか確かめたいです。そしてチャレンジしたい事が2つあります。1つ目は、日本の料理をホームステイ先の人に作って食べてもらう事です。2つ目は、現地の人と会話を出来るようになる事です。もし、会話が出来なくても、身振り手振りで、お互いを笑いあえる仲にしたいです。(佐々木吾瀧さん)

僕がなぜ台湾に行きたいと思ったかという、以前台湾の中学生が、おじいちゃんの関係でホームステイしたからです。その時僕は保育園に行っていました。ホームステイしたお兄さんと仲良くなり自分も行ってみたいと思いました。僕も台湾の人と仲良くなりたいです。よろしくお願いします。(遠藤峻太郎さん)

僕は海外に行ったことがないのですが、これを機会に、日本の文化とは違う文化にふれ、それを学習や普段の生活につなげたいと思います。そして、台湾の方にも礼儀正しく接し社会のマナーを身につけることと、今世界が注目しているグローバル化や国境を越えた関係なども台湾へ行き学習したいと思います。今学習している英語を使って、日本語がうまく通じない台湾でも少しでもコミュニケーションをとれるようにがんばりたいと思います。(池田玲音さん)

私は国際交流に興味があり、日本とは異なる生活習慣や文化などを学びたいと思います。日本文化との違いや人々の生活など、実際に行ってみなければ分からないことをこの機会を通して感じたいと強く思っています。また、自分の語学力や自分の力を、日本とは違う海外で試してみたいと思います。そして、その経験をこれからの生活に役立て、より良い生活を送れるようにしたいと思っています。学校や清水町の代表という心構えをしっかりとち、日本と台湾の交流の架け橋となって、よりよい国際関係を築いていきたいです。(坂倉芽瀬さん)

英語能力を身に付けたいと思います。  
台湾の人と友達になりたいと思います。  
小籠包を食べたいと思います。(野中優希さん)

- ・言葉の壁に臆さず、現地の方と積極的にかかわりをもっていきたい
- ・積極的にかかわりをもつことで、コミュニケーション能力を高めていきたい
- ・日本にはない台湾独特の文化や習慣に触れることで、自分自身の見識を広げていきたい(深谷花音さん)

私は苗栗の人たちが普段どのような生活をしているかを詳しく知りたいと思いました。例えばどんな料理を食べているのか、毎日どんなことをしているか知りたいと思います。また、現地の中学生がどのように勉強をしているか、どのような学校生活をしているか知りたいと思います。言葉がわからなくてもホストファミリーの方やお世話になる方のお手伝いが出来たらいいなと思います。(川名凜穂さん)



(週報担当:木村安紀夫)